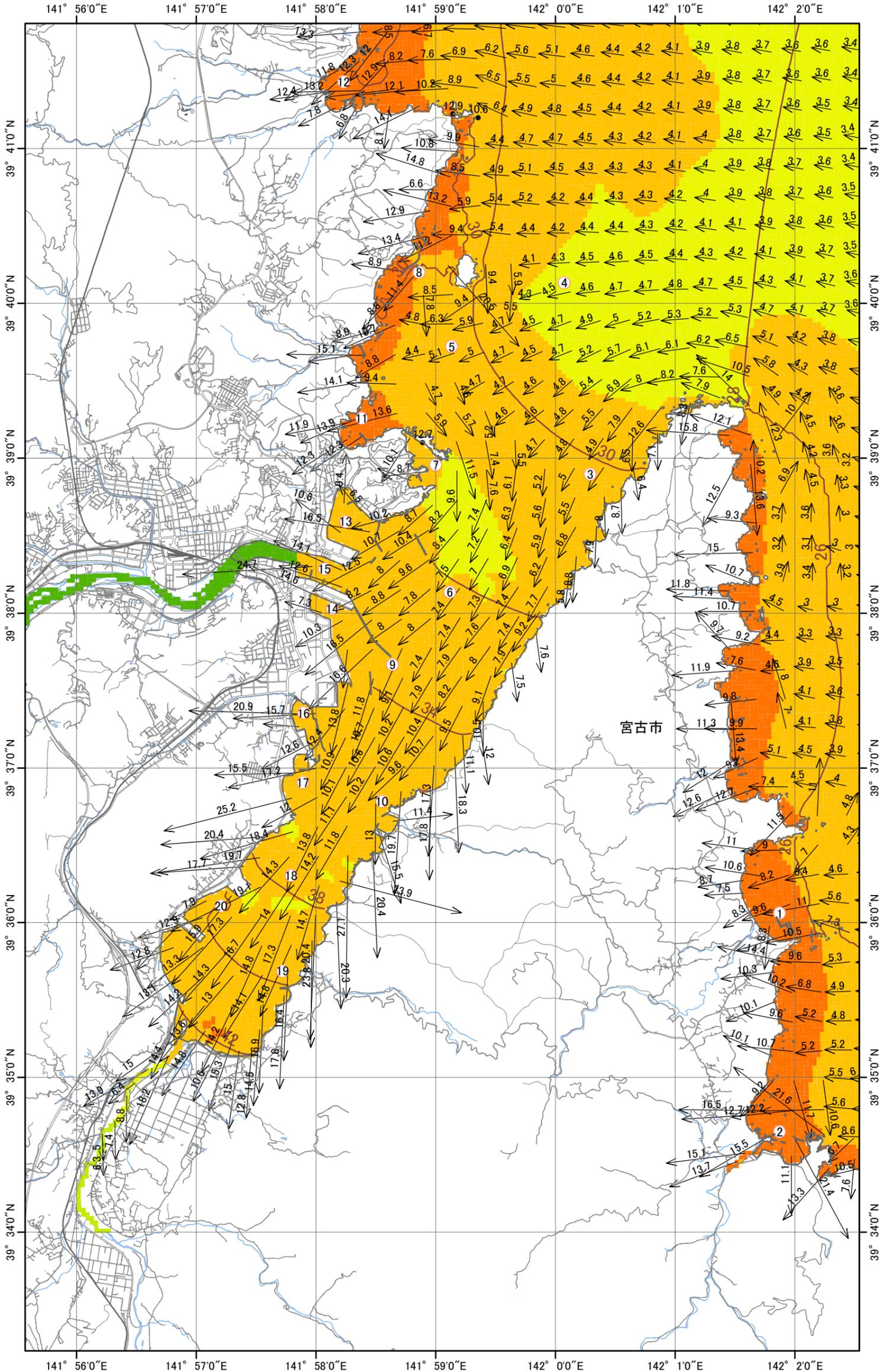


計算条件： 最高水面（零位）
 隆起量： 平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)
 Zo： 0.83m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 10~最大19.4m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

○ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

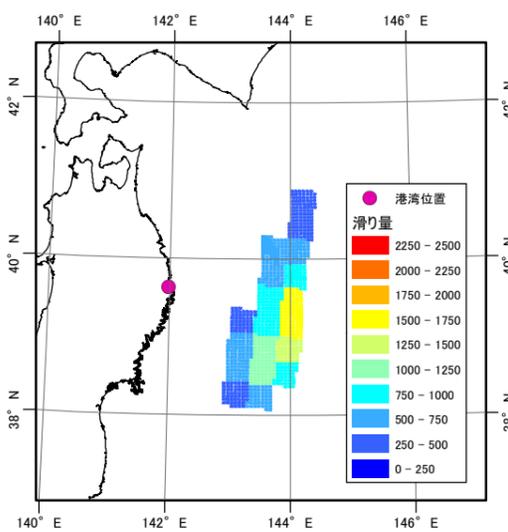
- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

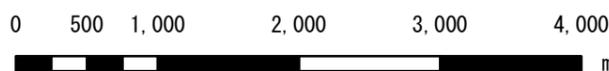
断面モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断面モデルは、平成18年中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基盤地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基盤地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：平成30年4月 (初版)
 地形データ作成年月：平成28年3月 (初版)